



皮膚常在菌を調整し肌質を改善 - 肌に有用な働きをする菌を優勢に -

できおいたる
東京女子医科大学 皮膚科 講師 出来尾 格 氏

肌に有用な働きをする菌を優勢に保つことで肌質を改善させる最新のスキンケア「美肌フローラ」を開発・製品化させた東京女子医科大学 皮膚科の出来尾 格先生。その研究過程のなかで、皮膚常在菌を探究してきたわけだが、意外なことに、ニキビの原因菌といわれてきた「アクネ菌」はそうではないとのこと。皮膚常在菌の権威である出来尾先生に最新の常在菌事情やスキンケアについて伺った。

アクネ菌はニキビの原因ではなかった!?

—「アクネ菌」はニキビの原因だと信じてきましたが……。

出来尾 確かに原因菌のひとつではありますが、「アクネ菌」にはタイプⅠ・Ⅱ・Ⅲが存在し、弱酸性の肌（肌が健やかな状態）に誘導する特性を持っているなど、肌に良い作用をもたらす菌だということが、最近の研究で明らかとなりました。

私は2002年からこの皮膚常在菌の研究に取り組んでいますが、皮膚には「表皮ブドウ球菌」「黄色ブドウ球菌」「アクネ菌」が培養可能な最もメジャーな菌として存在し、なかでも「表皮ブドウ球菌」「アクネ菌」が皮膚を健康に保つ働きがあることを発見しました。

—それでは、なぜ「アクネ菌」はニキビの原因とされているのでしょうか。

出来尾 アクネ菌は、「酸素がある環境」でも、「酸素がない環境」でも増殖する特性を持ちます。すなわち毛穴が詰まった状態でも生きていくということです。ところが、アクネ菌のタイプⅠだけは「酸素がない環境」だと、悪いタンパクを放出し、廻りに炎症を起こします。一方、タイプⅡ・Ⅲは「酸素がない環境」でも悪いタンパクは出しません。つまり、ニキビになりやすい人は、このタイプⅠのアクネ菌を保持していることが判明したのです。

—先生の研究で「アクネ菌」の汚名が晴れたというわけですね。

出来尾 いやいや（笑）。今までは、どうやってニキビが発症するのか、そのメカニズムが分からなかったんですね。私はそこにメスを入れ、

「アクネ菌」の実態を明らかにしていきました。これからはさらに臨床試験を進めていき、深く「アクネ菌」を追求していきたいと思っています。

—ところで、「表皮ブドウ球菌」はどのように皮膚を良好な状態にさせるのでしょうか？

出来尾 「表皮ブドウ球菌」は、肌荒れや、アトピー性皮膚炎を発症させるといわれている「黄色ブドウ球菌」を抑制する抗菌ペプチドを放出し、働きを抑えます。ですから「表皮ブドウ球菌」は悪者を退治する「正義の味方」のような菌です。また、肌の潤いやバリア機能を守る働きもあるため、「美肌菌」と名付けました。

—この「美肌菌」を増やしていくことが重要なのですね。

出来尾 そうです。健康肌の方の多くは「黄色ブドウ球菌」の数はほぼゼロです。一方、肌荒れを繰り返す方は「黄色ブドウ球菌」を保持していることが多々ありますので、美肌菌を使って減少させていく必要があります。また、この美肌菌の力を最大限活用したコスメの研究を、バイオジェノミクス社、長崎国際大学と共に行い、自身の美肌菌を培養して肌質改善させる世界初のオーダーメイドによるバイオスキンケア「美肌フローラ」を2013年に開発しました。

—具体的にどのようなスキンケアなのでしょう。

出来尾 簡単に申しますと、お客様の顔の肌から美肌菌を採取し、培養・増殖させ、凍結乾燥粉末にして肌に戻すシステムです。自身の肌に保有している美肌菌を調整し



PROFILE できおいたる ● 1999年慶應義塾大学医学部卒業。2006年慶應義塾大学学部助教（アトピー外来担当）。2008年島根大学医学部講師（アトピー外来担当、外来医長）。2010年イングランド公衆衛生局（コリンデル）微生物サービス部 生体解析・先端技術教室研究員。現在、東京女子医科大学 東医療センター皮膚科講師。

東京女子医科大学
東医療センター 皮膚科 講師
出来尾 格 先生

ていくため、安全性が確保されることはもちろんのこと、効果の面でもメリットがあると考察します。日頃から「化粧ノリが悪い」「化粧かぶれしやすい」など肌荒れにお困りの方などは「美肌フローラ」で改善することが期待できます。また、「美肌フローラ」の臨床試験では皮膚表面の蒸散量が減少し、表皮の水分量が43%から55%にアップしたとのデータ結果も示されました。

—今後の展望は？

出来尾 美肌菌による臨床試験を重ね、ニキビやアトピー性皮膚炎などの皮膚疾患への改善効果を明らかにしていくことで、美肌フローラを広く普及させていきたいと思っています。また、先述しました「アクネ菌」には、肌の炎症を抑える働きも確認されていますので、今後「アクネ菌」を使った化粧品開発にも力を入れていきたいと考えています。

イチオシ商品

肌質改善が期待できる 世界初のスキンケア「美肌フローラ」



▶バイアル瓶1本が1回分となる使い切りタイプ。1本に約10億個の美肌菌が入っている。

「美肌フローラ」は、顔の皮膚から菌を採取し、「美肌菌バンク」（バイオジェノミクス社）にて保管。菌の中から「美肌菌」を選別して培養し、それを-80℃で凍結保存しパウダー状にするオーダーメイド・バイオスキンケア。使い方は通常の化粧水と一緒に週2回塗布するだけ。継続して使用することで、美肌菌を良好に保つことができるという。バンク登録された美肌菌は半永久的に冷凍保管可能。なお、「美肌フローラ」は「美肌菌BANK」オフィシャルサイト（<http://bihadabank.com/>）より購入できる。

「美肌菌バンク」サポートセンター 担当：大庭
☎ 03-6304-1763 E-mail: support@bihadabank.com